

運営委員会より

2019年6月27日に開催された学術研究会総会にて、会則、細則、事業規程の一部が改訂されました。以下に主な改訂点をお知らせいたします。

運営委員会では昨年度10年後を見据えた財政規律の適正化(収支均衡)案を策定し、以下のように、入会・会員継続の動機付けのための会則改正や既存事業の見直しを検討し、総会の承認を得たものから実施しております。本会は大学から独立した任意団体であり、会員の皆様からの会費が収入源のほぼすべてですので、財政上の制約がありますが、任意団体であるという特性を生かし、皆様の研究活動に関わるニーズのかゆいところに手が届く事業制度にすべく、議論し対応しています。継続的な事業運営のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

会則の改訂

- 会費滞納者(2年度以上の滞納)は除名処分に付されることになりました。
除名後も、滞納分の納付義務が消滅することはありません。

ただし、本会の督促に応じて滞納2年度目の末日までに滞納分を全額納付した方はこの限りではありません。

- 会員は書面での届出を以って本会を退会することができることを明文化しました。
ただし、機会主義的な入退会を抑制するため、一旦任意退会した方が再入会する場合には以下の支払いが必須となりました(会費滞納によって除名された方が再入会する場合も同様です)。

- ◆任意退会したときから再入会するまでの会費累計額
- ◆再入会料(再入会時の職位に応じた会費1年分)

- 正会員歴10年以上の退職教員の方は申請によって賛助会員として再入会することができ、会費納付は免除されることを明文化しました。

- 学生の視点を事業運営に取り入れるため、学生委員を設置しました。

会費に関する細則の改訂

- 賛助会員として加入していただいた方にも、会員資格が有効である間は毎年会費を納付していただきます。

従来は事業利用時のみの加入をお認めしてきましたが、上記のとおり、変更します。

『論叢』規程の改訂

- 本学専任教員および専任教員以外で教育研究職に就いている方が『論叢』に投稿するためには、その投稿目的や著者順を問わず、本会に加入していることが要件となりました。

その他の改訂

- 学会参加補助の申請手続きを変更しました。従前は学会開催前と開催後の2回、書類提出が必要でしたが、開催後に一括提出すれば済むことになりました。

- 学術論文投稿費補助の申請期間が年1回になりました。

- 学会等助成、出版助成の改訂については、本紙裏面をご高覧ください。

今後の検討事項

- 『論叢』の系列一本化につきましては、国際商学部から強い反対の声が出たため、今年度総会では継続審議とされました。しかし、投稿機会を減らすことなく、刊行遅延(合併号化による遅延を含む)を防止し、予算を縮減する策として、一本化に代わる案はないように思われます。
本件につきまして、ぜひご意見をお寄せください。

- 2021年度から新叢書シリーズの出版代金の本会負担額に上限を定める(1件当たり70万円程度を助成上限額とし、残りを著者負担とし、他の助成制度からの併給を可とする)という方向で検討してまいります。

事業のご案内

『論叢』の原稿募集について

『論叢』人文科学系列、社会科学系列の原稿を募集しております。原稿提出締切りは以下のとおりです。

- ◆社会科学系列71巻2号※ 2019年11月7日(木)
- ◆社会科学系列71巻3号 2020年3月12日(木)
- ◆人文科学系列71巻3号 2020年1月30日(木)

※西島益幸教授退職記念号

また、来年度に村松茂先生のご退職記念号を刊行いたします。締切は2020年9月24日(木)です。

出版助成について

横浜市立大学新叢書の企画募集を再開しております。

また、出版社を限定しない助成(助成額上限:50万円)も導入いたします。現在、申請受付の開始に向けて準備中です。

学術論文投稿費補助について

今年度の申請期限は2020年2月10日です。

※本会の制度は本学研究企画・産学連携推進課の補助制度の選に漏れた方を対象としております。

学会等助成について

今年度総会における規程改訂により、学生向けの講演会、セミナー、シンポジウムも助成対象となりました。

上記イベントの講師を他大学等から招聘する場合、1件につき1万5千円を講師の方に支給します。

お問い合わせ先

上記の事業内容に関する詳細、ご利用手続き、ご自身の加入状況等に関するお問合せは下記までお願いいたします。また、各事業の申請様式等は本会ウェブサイトからご取得いただけます。

学術研究会事務室

八景キャンパス文科系研究棟2階 221号室内

電話・FAX 045-787-2085

Website <https://gakken5.wixsite.com/gakken>

Email gakken@yokohama-cu.ac.jp

その他事業

左記のほか、下記の事業も実施しております。

- 『論叢』掲載論文を電子化、本学機関リポジトリおよび論文データベース(EBSCO※)上で公開
- ディスカッションペーパーシリーズの発行
- 本会正会員の最終講義の開催費用の補助
- 学会で発表を行う学生会員に対する参加登録料の補助
- 博士号を取得した学生会員に対する博士論文の印刷・製本費用の補助
- 理系の学部生の必修科目「自然科学基礎実験」のテキストの発行

※2019年7月19日にEBSCO Publishing, Inc. と、『論叢』掲載論文を同社のデータベースに収録する契約を締結しました。

直近に刊行された号に掲載された論文から漸次、収録してまいります。

以下の号に掲載された論文で、本会に著作権の譲渡がなされていないものにつきましては、著者の方に改めて文書および本会ウェブサイト上で収録の可否をお伺いいたします。

- ◆社会科学系列 創刊号～66巻3号
- ◆人文科学系列 創刊号～66巻3号
- ◆自然科学系列 創刊号～64巻1・2・3合併号

会員の皆様からのご利用を
お待ちしております。

